

## 可児市都市計画審議会議事録

1. 開会日 平成 27 年 5 月 18 日 (月) 開会時間：午後 1 時 30 分  
閉会時間：午後 3 時
2. 開会場所 可児市役所 5 階第 1 委員会室
3. 出席委員 都市計画審議会会長 和 泉 潤  
都市計画審議会会長職務代理者 伊 藤 栄 一  
都市計画審議会委員 林 則 夫  
山 根 一 男  
野 呂 和 久  
澤 野 伸  
和 田 義 則  
加 藤 幸 治  
長 谷 川 彰  
小 西 澄 子  
小 池 一 二 三  
栃 川 敏
5. 事務局 建設部長 村 瀬 良 造  
都市計画課長 田 上 元 一  
都市整備課長 佐 合 清 吾  
都市計画課 溝 口 英 人  
〃 杉 山 尚 示  
〃 金 沢 貴  
〃 稲 垣 好 二  
都市整備課 小 島 弘 昭  
〃 玉 野 翔 一

6. 議事録署名者指名

7. 議事 諮問第1号 可児都市計画道路の変更について  
可児都市計画道路 3・4・9 可児駅前線の変更

8. その他 (1) 都市計画マスタープランについて

<p>9. 会議内容</p> <p>都市計画課長 田上</p> <p>和泉委員（以下、会長）</p> <p>会長</p> <p>都市整備課 小島</p> <p>都市計画課 金沢</p>	<p>以下のとおり</p> <p>開会を宣言し、あいさつまで、司会を行った。 柄谷委員、奥村委員、藤田委員は欠席であることを紹介した。</p> <p>議事録の署名者について、可児市都市計画審議会の会議運営の取扱い基準の10の第1項に基づき、小池委員と長谷川委員を指名した。</p> <p>議事に従い、事務局に諮問第1号の説明を求めた。</p> <p>可児都市計画道路の変更について、資料に基づき説明を行った。</p> <p>都市計画決定手続きスケジュールについて説明を行った。</p>
<p>質 疑 応 答</p>	
<p>会長</p> <p>山根委員</p> <p>都市整備課 小島</p> <p>山根委員</p> <p>都市整備課 小島</p> <p>会長</p>	<p>質問等あれば発言願いたい。</p> <p>J Rの土地を外した事情は何なのか。</p> <p>除外した部分は、既存のJ Rの駅舎、自由通路を建設するエリアである。当初の予測より利用客の増加が望まれず、橋上駅舎にかかる費用もあるため、橋上駅舎を取り止めて現在のJ R可児駅をそのまま使い、自由通路の配置する部分についても駅前広場から外した。また、さきほど説明をさせていただいた車の配置についても見直しを行っている。</p> <p>橋上駅舎をつくるため、当初のエリアを指定していたが、橋上駅舎がなくなっただけで、そのエリアを縮小したということではないのか。</p> <p>結構です。</p> <p>その他、なにか質問はないか。 意見がないようであれば、諮問第1号について、異議なしということよろしいか。</p>

<p>会 長</p> <p>都市計画課長 田上</p> <p>都市計画課 金沢</p>	<p>全員異議なし。</p> <p>それでは、都市計画審議会の諮問第1号について、原案通り承認とする。</p> <p>つづいて、その他の都市計画マスタープランについて、事務局より説明願いたい。</p> <p>都市計画マスタープランとは何なのか、また現在の可児市都市計画マスタープランについて、資料に基づき説明を行った。</p> <p>都市計画マスタープランの策定スケジュールについて説明を行った。</p>
<p>質 疑 応 答</p>	
<p>会 長</p>	<p>事務局の説明事項に対して、質問があれば発言願いたい。</p>
<p>会 長</p>	<p>現行のマスタープランに比較して、その後に策定された総合計画はかなり変わるが、新たなマスタープランを策定する際、その調整はどうするのか。</p>
<p>都市計画課長 田上</p>	<p>第四次総合計画は平成23年度から平成31年度までのものであり今年度後期4年間の基本計画の見直しをするが、基本構想や骨子は9年間変わらないため、それをもとにマスタープランの策定をしたい。しかし、総合計画策定後5年間経過し、都市計画や総合計画の状況も変わってきている。後期の基本計画では、どの程度変更があるか踏まえながら策定していくのが必要である。</p>
<p>会 長</p>	<p>地方創生の計画もマスタープランの策定に大きな影響を与えらると思うが、その調整はどうするか。</p>
<p>都市計画課長 田上</p>	<p>地方創生の人口ビジョンと地方総合戦略を今秋までに計画を立案する予定である。同時並行して、総合計画の全体構想は今年度末に策定される。マスタープランに関しても、人口ビジョンや地方総合戦略を受けながら全体構想を考えていきたい。</p>
<p>山根委員</p>	<p>市長公約との整合性で、それによって見直しされることはあ</p>

<p>都市計画課長 田上</p>	<p>るか。</p> <p>マスタープランの策定において、総合計画の基本構想はしっかりと受け、市長の4つの柱、重点方針も受けて整合性を図っていく。また、総合計画も市長の4つの柱、重点方針に沿って策定されると思う。</p>
<p>山根委員</p>	<p>それは、4月から6月の基本的指標整理に入ってくるのか。</p>
<p>都市計画課長 田上</p>	<p>その通りである。</p>
<p>澤野委員</p>	<p>都市計画道路の広見土田線とそこに接続する沢渡土田線の計画が凍結して時間が経つが、そのまま計画図に載せるのか。</p>
<p>都市計画課 溝口</p>	<p>可児市としても東西方向の交通を担う重要路線と考えている。県道菅刈今渡線の代替え路線として県事業で要望をあげているが、県の財政事情もあり、なかなか認められていない。今後も市として強く要望をあげていき、都市計画道路としての位置づけは、今後も構想の中に入れていきたいと考えている。</p>
<p>山根委員</p>	<p>地域別構想はどの程度の地域の区割りで、地域住民の意見を反映していくのか。</p>
<p>都市計画課長 田上</p>	<p>9つの地域と兼山の10地区に分けられている。具体的には、広見・下恵土・中恵土、今渡・川合、土田、帷子、春里・姫治、平牧、桜ヶ丘、久々利、広見東部、兼山である。また、全体構想や地域別構想が出来たら、地域の説明会で地元の声を聞きたいと思っている。</p>
<p>会長</p>	<p>その他、なにか質問はないか。ないようなら、1人ずつ意見をお願いしたい。</p>
<p>伊藤委員</p>	<p>変動する時代において、長期のマスタープランの策定は難しい。また他の計画との繋がりということで、農業・山林の位置づけと都市機能をどう整合させるかということは大事である。相互の計画が、お互いに反映できるようにしてもらいたい。</p>
<p>和田委員</p>	<p>道路整備について、県全体の道路網構想を見直したいと考え</p>

<p>加藤委員</p>	<p>ている。可児市についても市と共に、将来的な道路網構想を検討していきたい。またマスタープランについても、協議しながら進めていきたい。</p> <p>瀬田のインター付近だが、マスタープランを考える上で土地利用や用途を謳っていく必要があると思う。インター付近と同じような形態も出てくると思うので、マスタープランの中で土地利用計画等を捉えていってほしい。</p>
<p>長谷川委員</p>	<p>総合計画の中で、平成27年度は前期計画と後期計画の間である。都市マスの策定で策定委員会と作業部会が設置されるが、人口増減を踏まえて関係部署を集めた策定会議としてほしい。</p>
<p>小西委員</p>	<p>可児駅前にはお店がなく、夜になると真っ暗になってしまう。10年や20年後ではなく、早期に大きなお店や公共の駐車場が出来れば、駅を利用する人も増えてくるのではないかな。</p>
<p>栃川委員</p>	<p>厳しい財政状況の中、計画通り出来るのか疑問である。</p>
<p>小池委員</p>	<p>1つ目は用途地域のことで、南部の住宅団地は第1種低層住居専用地域で現在空き家や空き地が増えて、高齢化も著しく進んでいる地域である。そういった中で、買い物不便者が出てきていると聞いている。この用途では、コンビニは作れないため、住みやすい地域にするため見直しを考えてもらいたい。</p> <p>2つ目は、名城大学都市情報学部が平成29年4月に移転するが、跡地利用をどうするか。現在、地区計画の中で、学術・交流拠点という位置づけだが、活用出来るような計画づくりをしてほしい。</p> <p>3つ目は、若い人たちに移住してもらえようなまちづくりをしてほしい。そこで、花フェスタ記念公園に動物園を併設するなど花フェスタの集客と子育て世代の支援ができるような都市公園施設を造ってほしい。</p>
<p>澤野委員</p>	<p>インター付近の開発に本腰を入れてもらいたい。東から中央部への流入人口を増やすためにも、しっかりとした整備計画に基づいて行ってもらいたい。</p>

野呂委員	<p>防災的な視点から、緊急車両が通れるように道路幅を広げて安全なまちづくりをしてほしい。大災害の際には、避難受入の可能性があるので、それを含めてまちづくりを考えていかなければならない。</p>
山根委員	<p>市民からの意見聴取をしっかりしてほしい。地元説明会は、6箇所しか行わないということだったが、地域が10箇所に分かれるなら全てで行ってほしい。過程を大事にし、市民本位のものにしてほしい。</p>
林委員	<p>可児川の流量が下がっているため、木曾川の水を可児川に導入してもらいたい。また、道路の県道多治見八百津線の柿下の周辺や県道御嵩犬山線の塩の名鉄踏切などの改良を市にお願いしたい。</p>
都市計画課 溝口	<p>道路の県道御嵩犬山線の塩の件だが、踏切内の幅員を広げるのは難しい。広げるためには、他の踏切を潰したうえで拡幅しなければならない。過去に何回か検討はしたが、物理的に難しいのでなかなか進まなかった。県道多治見八百津線の柿下の件だが、ため池から奥は随時出来ている。ため池付近が一部できていない箇所があり、それが出来次第、今後柿下の集落の辺りを改良していく。</p>
会長	<p>1つ目は、空き家が増えてきている問題だが、それにどう対応するかは都市マスとも密接に関係している。道路は土地利用と密接に関係してくるので、骨格づくりにも大きく関係してくる。都市政策基礎調査で現状がわかるわけだが、それを将来どうしていくか十分な議論が必要である。また人口が減少した時に、都市を小さくする準備を今から進めていくことが必要である。それらを反映できるように都市マスを考えてもらいたい。</p> <p>2つ目は、都市マスを策定するに当たって住民参加が法に謳われている。今、資料を見ると住民参加はパブリックコメントしかない。住民の意見をどう吸い上げていくか、住民参加をどのように考えているか、考えを聞かせてもらいたい。</p>
都市計画課長 田上	<p>市内の組織をしっかり作り上げるということだが、都市部局だけでなく農の部局、商工等色々な部局を巻き込んでいくという考えはごもっともだと思う。また説明会が少ないということ</p>

<p>会長</p>	<p>だが、我々も考え直さなければならないと考えている。皆さんにも懇談会や協議会のような形で、意見を伺う機会をとらないといけないと思う。そして、全体構想も住民の意見をもらわなければならないと、皆さんの意見を聞いて痛感した。行程表については事務局で預かり、改めて提示したいと思う。説明会や様々な形で意見を吸い上げる機会をとっていくようにしたい。</p> <p>事務局の回答を受けて、何か意見はあるか。</p> <p>意見がないようなら、都市マスの改正、見直しについて、住民参加の部分は変わってくると思うが、このようなスケジュールで進めてくということによろしいか。</p> <p>全員異議なし。</p>
<p>会長</p>	<p>それでは、本日の議事その他が終わったため、全て終了とする。</p> <p>なお、議事録の作成において、これまでの発言について、非公開とする内容はあったか。</p> <p>全員なし。</p>
<p>会長</p>	<p>それでは、今回の内容は全て公開とすることとする。</p> <p>閉会を宣言した。</p>